

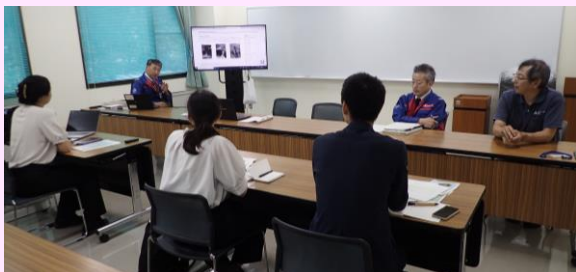


10月3日(木)、土木学会誌の学生企画に連載されている「土木の魅力探求「話す」「聞く」「考える」」の取材に、早稲田大学大学院生他3名が立山砂防事務所を訪問しました。

立山カルデラ砂防博物館や砂防工事専用軌道(通称:トロッコ)車庫、千寿ヶ原地区の砂防施設を視察し、立山砂防の特徴や役割、これからの砂防施設の在り方などを熱心に取材されました。

取材日: 令和6年10月3日(木) 10:15~16:30  
場所: 立山砂防事務所(千寿ヶ原管内)  
立山カルデラ砂防博物館  
取材: 早稲田大学大学院生 他3名  
内容: 私たちの生活における砂防施設の役割  
砂防施設の建設、維持管理について  
砂防工事専用軌道について 他

立山砂防の概要説明および取材の様子



立山カルデラ砂防博物館



SABO展示室



砂防工事専用軌道車庫



砂防工事専用軌道車庫



天鳥砂防堰堤



本宮砂防堰堤

現地視察の様子

【取材企画概要】

土木学会誌学生企画「土木の魅力探求「話す」「聞く」「考える」」について

土木学会誌において、学生企画として「土木の魅力探求「話す」「聞く」「考える」」を立ち上げ、学生編集委員が興味のあることを探究します。企画は下記の3部構成になっています。

- ・「話す」: 主担当が興味を持った理由や取材前の気持ちを率直に話し合う
- ・「聞く」: 取材を通して疑問に思ったことを聞く
- ・「考える」: 取材後に学んだことを踏まえて感じたことを共有する

今回は2025年4月号の土木学会誌にて「山の中の土木」を深掘していきます。